

問1	1980年代末、東ヨーロッパ諸国で民主化の動きが広がり、1989年には東西冷戦の象徴であったベルリンの壁が崩壊しました。これを受けて、同年に地中海の島国でアメリカとソ連の首脳が会談し、長年続いた冷戦の終結を公式に宣言しましたが、この会談を何と呼びますか。 （2026年 沖縄県公立入試 類似）			
	1. ヤルタ会談	2. ポツダム会談	3. マルタ会談	4. サンフランシスコ平和条約締結会議
問2	1950年代後半から1970年代初頭にかけて、日本の実質経済成長率は年平均で10%を超える高い水準を記録していました。この急速な工業化に伴い、各地で深刻な公害問題が発生したことを受けて、1971年に公害対策や環境保護を総合的に推進するために設置された行政機関を何といいますか。 （2022年 奈良県公立入試 類似）			
	1. 公害対策審議会	2. 国土庁	3. 環境庁	4. 厚生省
問3	1960年代後半、佐藤栄作内閣のもとで日本の平和主義を示す基本姿勢として確立された、核兵器に対する「非核三原則」の具体的な内容として正しいものはどれですか。 （2026年 福島県公立入試 類似）			
	1. 核兵器を「持たず、作らず、持ち込ませず」	2. 核兵器を「持たず、使わず、持ち込ませず」	3. 核兵器を「輸入せず、製造せず、配備せず」	4. 核兵器を「開発せず、保有せず、実験せず」
問4	1950年代のなかごろから1970年代の初めにかけて、高速道路や新幹線が整備され、日本の経済が世界でもトップクラスの規模になった時代のことを何といいますか。 （2019年 佐賀県公立入試 類似）			
	1. バブル経済	2. 文明開化	3. 高度経済成長	4. 明治維新
問5	1947年の日本国憲法施行から、1989年のベルリンの壁崩壊までの日本外交の歩みにおいて、1956年に実現した日ソ共同宣言の時期を説明した内容として正しいものを選びなさい。 （2019年 長崎県公立入試 類似）			
	1. ポツダム宣言の受諾直後、日本国憲法が公布されるより前の出来事である。	2. サンフランシスコ平和条約の発効後、日韓基本条約が締結されるより前の出来事である。	3. 日中平和友好条約が締結され、日本の高度経済成長が終了した後の出来事である。	4. 沖縄返還が実現し、日本が国際連合の常任理事国を目指し始めた後の出来事である。
問6	日本の農業や土地制度の歴史的変遷において、江戸時代に見られた特徴として最も適切なものを、次の選択肢の中から1つ選びなさい。 （2018年 北海道公立入試 類似）			
	1. 自作農を創設して農村を民主化するため、地主の土地を小作人に売り渡す農地改革が行われた	2. 商品作物の栽培が盛んになり、金肥として干鰯などが広く使用された	3. 戸籍に登録された6歳以上の男女に対し、生活を保障するために口分田が与えられた	4. 土地の所有者に地券を発行し、地価の3%を現金で税として納めさせた
問7	農地改革が行われたことで、日本の農村の様子はどのように変わりましたか。 （2016年 奈良県公立入試 類似）			
	1. 小作人が減り、自分で土地を持つ自作農（じさくのう）が増えた	2. 地主が広い土地を貸し出すようになった	3. 村のみんなで協力して一つの大きな畑を耕すようになった	4. 戦前からの地主の支配がより強くなった
問8	日本が高度経済成長期（1950年代半ば～1970年代初頭）にあった時期、東南アジアで激化した国際紛争について述べた文として、正しいものはどれか。 （2021年 鹿児島県公立入試 類似）			
	1. アメリカが軍事介入を強化したことで、北ベトナムと南ベトナムの間での戦争が激しくなった。	2. イラクがクウェートに侵攻したことを受け、アメリカを中心とする多国籍軍が攻撃を開始した。	3. ベルリンの壁が崩壊したことで、東西の対立が解消されベトナムに平和が訪れた。	4. 北緯38度線を境界として、北側と南側が激しく衝突し、日本の警察予備隊創設のきっかけとなった。
問9	1956年に日本とソビエト社会主義共和国連邦（ソ連）との間で調印され、両国間の戦争状態が終結して国交が回復した宣言を何というか。 （2023年 香川県公立入試 類似）			
	1. 日中共同声明	2. サンフランシスコ平和条約	3. 日韓基本条約	4. 日ソ共同宣言
問10	第二次世界大戦後の米ソ対立（冷戦）期に発生した紛争や危機について述べた歴史資料において、冷戦の文脈とは無関係な出来事として分類されるものはどれですか。 （2018年 大分県公立入試 類似）			
	1. キューバ危機	2. イラク戦争	3. ベトナム戦争	4. 朝鮮戦争
問11	1942年と1950年の日本の農家構成の変化を比較すると、1942年には約28%存在した小作農が、1950年にはわずか5%まで減少しました。これに対し、自作農は32%から63%へと急増しています。このような変化がもたらされた背景と目的に関する説明として、最も適切なものはどれですか。 （2017年 岩手県公立入試 類似）			
	1. 農地を大規模に集約して機械化を進め、都市部の工業化に必要な労働力を確保するため。	2. 小作農をすべて都市の工場労働者へと転職させ、食料自給率を意図的に下げるため。	3. 自作農を増やして農村の民主化を進め、地主が支配していた古い社会体制を解体するため。	4. 土地の所有権をすべて国有化し、政府の直接管理による集団農業体制を確立するため。
問12	1950年代半ばから始まった高度経済成長期には、テレビ、洗濯機、冷蔵庫などが「三種の神器」と呼ばれ、一般家庭に急速に普及しました。当時のデパートの売り場でも主力商品として扱われたこれらの製品が、国民の生活にもたらした直接的な影響として最も適切なものを選びなさい。 （2016年 群馬県公立入試 類似）			
	1. エネルギー源が石炭から石油に転換され、公害問題がすべて解決した	2. 都市部から農村部への人口移動が起こり、地方の過疎化が解消された	3. 物価が急激に上昇したため、人々の消費活動が停滞した	4. 家事の負担が大幅に軽減され、生活の利便性が向上した
問13	戦後の日本における教育改革の経緯について述べた文章のうち、教育基本法が制定された背景や目的として最も適切なものを選びなさい。 （2026年 北海道公立入試 類似）			
	1. 明治時代から続く教育の基本方針である教育勅語の内容を、さらに強化するために制定された。	2. 冷戦の開始に伴い、国家に対する忠誠心を持つ国民を育成することを目指して制定された。	3. 義務教育の期間を短縮し、早期に専門的な職業教育を行うことを目的として制定された。	4. 日本国憲法の施行に合わせ、民主主義や平和の理念を教育の土台とするために制定された。
問14	1964年の東京オリンピック開催に合わせて開通し、東京と新大阪の間を結んだ日本初の高速鉄道の名前を答えなさい。 （2024年 長崎県公立入試 類似）			
	1. 東海道新幹線	2. 北陸新幹線	3. 山陽新幹線	4. リニア中央新幹線

答え合わせ・解説

問1	答え 3 マルタ会談	ソ連のゴルバチョフ書記長が進めた改革（ペレストロイカ）により米ソの緊張が緩和される中、1989年12月にアメリカのブッシュ（父）大統領とゴルバチョフ書記長が会談を行いました。この場所が地中海のマルタであったことからマルタ会談と呼ばれ、世界に向けて「冷戦の終結」が宣言されました。ヤルタ会談やポツダム会談は、第二次世界大戦の終結に向けた処理を話し合った会議です。
問2	答え 3 環境庁	高度経済成長期の日本では、工業の発展とともに大気汚染や水質汚濁が激化し、四大公害病などの甚大な被害が生じました。これに対し、1967年の公害対策基本法の制定を経て、バラバラに行われていた環境行政を一本化して強力に進めるために、1971年に環境庁が発足しました。なお、環境庁は2001年の省庁再編により環境省へと昇格しています。
問3	答え 1 核兵器を「持たず、作らず、持ち込ませず」	唯一の戦争被爆国として、核兵器に対して日本がとっている基本的な方針です。1967年に佐藤栄作首相が国会答弁で示し、その後、国会の決議によって国是（国の重要な方針）として確立されました。佐藤栄作はこの方針の提示や沖縄返還への貢献が評価され、後にノーベル平和賞を受賞しています。
問4	答え 3 高度経済成長	この時期は、日本の工場での生産が活発になり、国民総生産（GNP）という国の経済力をあらわす数値で、世界第2位の経済大国となりました。バブル経済はこれよりも後の1980年代後半の出来事です。
問5	答え 2 サンフランシスコ平和条約の発効後、日韓基本条約が締結されるより前の出来事である。	戦後の外交史において、日本は1951年のサンフランシスコ平和条約で独立を回復しました。その後、1956年に日ソ共同宣言によってソ連との国交を回復し、国際連合への加盟を果たしました。韓国との国交正常化である日韓基本条約は1965年、中国との国交正常化である日中共同声明は1972年であるため、日ソ共同宣言はこれらより前の重要な外交事象に位置づけられます。
問6	答え 2 商品作物の栽培が盛んになり、金肥として干鰯などが広く使用された	江戸時代には、都市の発達に伴い野菜や綿花などの商品作物の需要が高まりました。これに伴い、金銭で購入する肥料（金肥）である干鰯（ほしか）や油かすが広く普及し、農業生産力が向上しました。他の選択肢については、地券の発行と地価に基づく課税は明治時代の地租改正、口分田の班給は律令制下の奈良時代など、農地改革は第二次世界大戦後の出来事であり、それぞれ時代が異なります。
問7	答え 1 小作人が減り、自分で土地を持つ自作農（じさくのう）が増えた	農地改革により、政府が地主から買い上げた土地を小作人に売ったことで、多くの農民が自分の土地を持つ「自作農」になりました。これにより、地主が村を支配していた仕組みが崩れ、農村の民主化が進みました。
問8	答え 1 アメリカが軍事介入を強化したことで、北ベトナムと南ベトナムの間での戦争が激しくなった。	1960年代の日本は高度経済成長のさなかにありましたが、世界的には冷戦の影響でベトナム戦争が激化していました。ベルリンの壁崩壊は1989年、湾岸戦争（多国籍軍の介入）は1991年の出来事であり、警察予備隊のきっかけとなった朝鮮戦争は1950年に始まったもので、高度経済成長期が本格化する直前の事象です。
問9	答え 4 日ソ共同宣言	1956年に鳩山一郎内閣のもとで調印されました。サンフランシスコ平和条約で講和しなかったソ連との国交が回復したことで、日本の国際社会への復帰がさらに進みました。この宣言によりソ連が日本の国際連合への加盟を支持することを約束し、同年中に日本の国連加盟が実現しました。
問10	答え 2 イラク戦争	冷戦は第二次世界大戦後から1991年のソ連解体まで続いた、アメリカを中心とする資本主義陣営とソ連を中心とする社会主義陣営の対立構造を指します。朝鮮戦争やベトナム戦争はこの対立の中で発生した「代理戦争」であり、キューバ危機は核戦争寸前の事態を招いた冷戦期最大の緊張局面です。一方、イラク戦争は2003年に始まった出来事であり、冷戦終結から10年以上経過した21世紀の紛争であるため、冷戦期の紛争には含まれません。
問11	答え 3 自作農を増やして農村の民主化を進め、地主が支配していた古い社会体制を解体するため。	統計に見られる小作農の劇的な減少と自作農の増加は、農地改革の結果です。この改革の最大の目的は、土地を農民自身のものにすることで、地主に従属していた農村の封建的な人間関係を壊し、民主的な社会の基盤を作ることでした。自ら土地を持つ自作農が増えたことで、農民の生産意欲が高まり、その後の農村の安定につながりました。
問12	答え 4 家事の負担が大幅に軽減され、生活の利便性が向上した	1955年頃から始まった高度経済成長期では、技術革新によって多くの家庭電化製品が普及しました。特に洗濯機や冷蔵庫の普及は、それまで手作業で行っていた家事の時間を短縮し、国民の生活をより便利で豊かなものへと変化させました。デパートなどの小売店でこれらの家電が飛躍的に売れたことは、大量消費時代の象徴でもあります。
問13	答え 4 日本国憲法の施行に合わせ、民主主義や平和の理念を教育の土台とするために制定された。	戦前の日本では天皇の教えである「教育勅語」が教育の規範となっていました。終戦後の民主化の過程で、これを廃止して新しい憲法にふさわしい教育制度を整える必要がありました。そこで、教育の機会均等や男女共学などを原則とする新しい法律がつくられました。
問14	答え 1 東海道新幹線	高度経済成長期の1964年、日本初の高速鉄道として東海道新幹線が開通しました。これは東京オリンピックの開催に合わせて整備されたもので、戦後日本の復興と技術力の高さを世界に示す象徴となりました。選択肢にある山陽新幹線は、その後に新大阪から博多まで延伸された路線です。